

2015年11月30日

4D 施工ステップで施工手順を“見える化”。進化を遂げる CIM コミュニケーションシステム

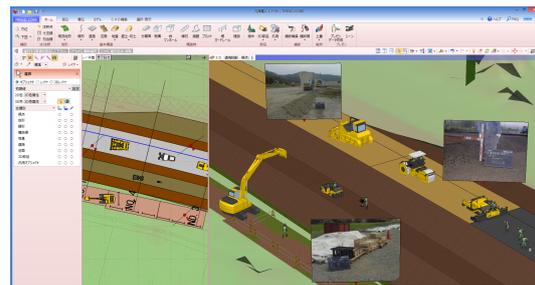
トレンドコア  
『TREND-CORE Ver.3』 2016年1月26日発売

福井コンピュータ株式会社

測量・土木のトータルCADメーカー、福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、建設現場の3次元化とCIMへの対応を強力にサポートするCIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE Ver.3」を2016年1月26日（火）よりリリースいたします。

CIM コミュニケーションシステム「TREND-CORE Ver.3」の概要

新バージョンでは、4D施工ステップによる施工手順の“見える化”を始め、国土地理院の「基盤地図情報」やオルソ画像など地形情報の使い勝手を向上させています。さらに発注者や地元住民への合意形成を手助けするフリービューアーの提供など、建設現場におけるCIM活用をより高度に支援する機能が実装されます。

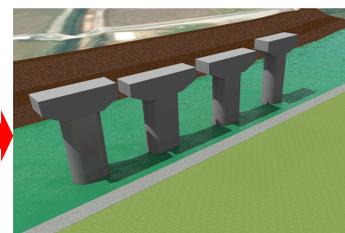
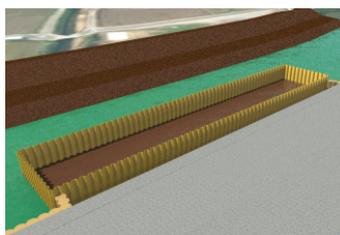


**TREND-CORE**

CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】

■ 「TREND-CORE Ver.3」に追加される主な機能

- 容易な4D施工ステップ作成により、施工手順の“見える化”を実現
  - ◇ 施工ステップ毎にモデル化した施工場面（「シーン」）を連続再生することにより、施工手順や変更案の比較、進捗状況等を“見える化”します。発注者との設計協議では、表現力の向上と協議時間の短縮が図られるほか、地元住民説明会においては、臨場感のある分かりやすい説明が可能となります。
  - ◇ 「シーン」では、モデルに付与した「工程」「試験結果」「担当者」など、様々な属性情報を使った多彩な表現で、施工計画の検討・共有を支援します。

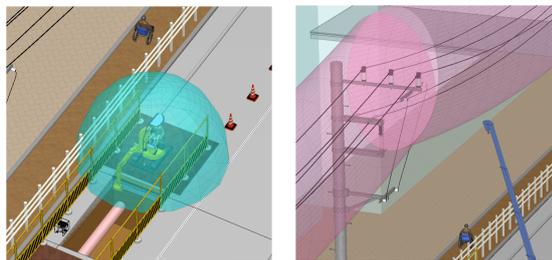


※国土地理院の電子地形図を利用しています (<http://www.gsi.go.jp>)

※データ提供：松本組（三重県）

## ➤ 重機可動範囲や危険箇所の“見える化”

- ◇ 配置した重機モデルに対して、性能に沿った可動範囲を鳥かごのような表現で“見える化”することで重機の配置計画に利用できるだけでなく、電柱や電線・架線からの安全隔離距離を容易にモデル化できます。



視覚的に危険箇所の把握ができ、施工計画検討や安全管理に役立ちます。

## ➤ 国土地理院が提供するデータの活用範囲を拡大

- ◇ 国土地理院の「基盤地図情報」を活用する機能を拡充しています。地形モデルに加えて、建物の外周線から建物モデルが構築できます。さらに、「地理院タイル」の様々な「地図」や「空中写真」を、座標を元に自動で「地形」モデルへマッピング（貼り付け）が可能になります。どなたでも施工現場に近接する施設を含むモデル作成に挑戦できます。

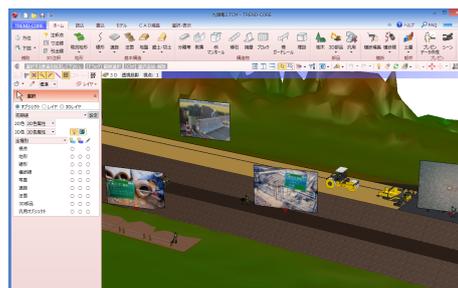
\*出所の明示など国土地理院の規則に則った掲載が必要です。

## ➤ 点群から生成したオルソ画像を自動マッピング

- ◇ 弊社の3D点群処理システム「TREND-POINT」で作成した“オルソ画像”を取り込むことにより、位置合わせすることなく自動で「地形」モデルにマッピング（貼り付け）ができます。点群データを活用することで、よりリアリティの高い現況モデル作成が可能となり、計画モデルと融合した3Dモデル構築が簡単に実現できます。

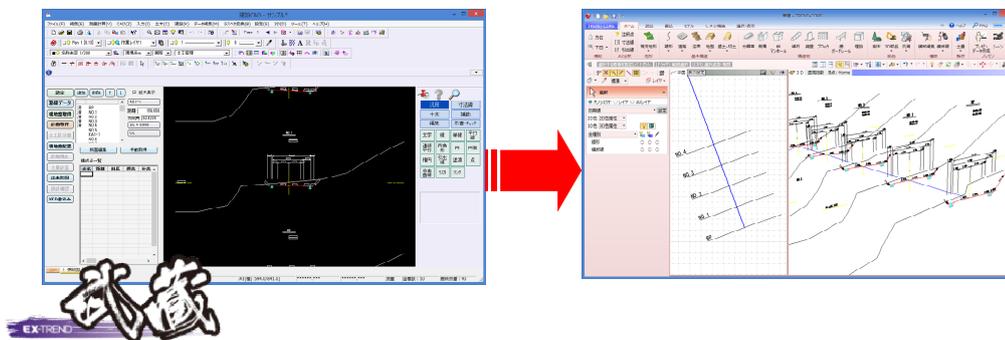
## ➤ 現地状況をより分かりやすくする3Dモデルデータへのデジタル写真取り込み

- ◇ デジタルカメラやスマートフォンで撮影した位置情報付き写真を3Dモデル上に自動配置できます。
- ◇ 弊社の現場端末システム X-FIELD（クロス・フィールド）を使えば、図面上で位置を指定して写真撮影できるため、誤差のない正確な撮影箇所に写真を自動配置可能です。



➤ 「EX-TREND 武蔵」との連携で「発注図」から配置モデルを作成

- ◇ 弊社の土木施工管理システム「EX-TREND 武蔵」に登録した線形情報と横断図から「配置モデル」(2.5次元表現)としてTREND-COREへ連携します。「EX-TREND 武蔵」との併用により、発注図から3Dモデル構築の効率が大幅アップします。



➤ 横断図を参照した線形モデル入力・編集

- ◇ 横断図のCADデータを下図として、モデルの入力編集が可能となります。一般的に入力が難しいとされる緩和曲線に沿ったモデル入力も横断図を参照し、形状をマウス指定することで、自動的に線形方向に配置します。また、平面と横断両方のCADを参照しながら3Dモデルを構築でき、従来は難しかった片勾配や断面変化を伴うモデル構築が効率的で正確にできるようになります。

➤ 作成した3Dモデルと属性情報がフリービューアーで閲覧可能

- ◇ TREND-COREで構築したCIMモデルをより多くの場面で利活用するために、「TREND-CORE CIM ビューアー Free版」(仮称)の提供を開始します。TREND-COREがインストールされていない環境でも、フリービューアーをインストールすることで、TREND-COREで作成したCIMモデルを閲覧できます。  
\*フリービューアーについては、Windows 32ビット版/64ビット版を提供予定

※ 開発内容は予告なく変更する場合がございます。

■ 発売予定日

- 2016年1月26日(火)

■ 価格

- TREND-CORE 基本部 600,000円(税抜)

■ 動作環境

- 弊社オフィシャルサイトの動作環境ページをご覧ください。

# N E W S R E L E A S E

## ■ スキルアップ教材(動画 DVD 視聴型) 好評発売中

➤ TREND-CORE 基本編 定価：100,000 円 (税抜)

【施工 CIM 他、収録 4 時間】

## ● このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 営業部営業推進課 Tel：0776-67-8860

福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

ホームページ：<http://const.fukuicompu.co.jp/>